

令和2年3月27日

神戸大学大学院工学研究科 道場「未来社会創造研究会」

各 位

地域連携活動から生まれたステーキハーブパウダー「神大ふるふる」の発売

姫路市夢前町山之内は、過疎化高齢化が進み限界集落に近づきつつありますが、現在、(株)香寺ハーブ・ガーデンと山之内地区自治体を中心となって休耕地でハーブを栽培し、ハーブ製品を山之内ブランドとして販売することで、農山村の活性化を図っています。そこで、神戸大学道場「未来社会創造研究会」では、同地区の経済活動をさらに活発化させるための地盤をつくるために、姫路市夢前町山之内で栽培されるハーブを使ってステーキハーブパウダー「神大ふるふる」を地域住民や(株)香寺ハーブ・ガーデンと共同開発しました。この度、ステーキハーブパウダー「神大ふるふる」を神戸大学生協同組合と(株)香寺ハーブ・ガーデンにて発売することが決定しました。収益の一部は、本学の研究活動へ寄付される予定です。

ステーキハーブパウダー開発プロジェクトは平成29年11月に始動し、学生メンバーが姫路市夢前町山之内へフィールドワークやボランティアに赴いて同地区への理解を深め、本学経営学部や工学部の教員の協力を仰ぎながら、ハーブパウダーを制作しました。

「ハーブパウダーを振ると、食べ物が美味しくなって、みんなの心と身体が FULL になる(満たされる)」というコンセプトで「神大ふるふる」を開発しました。その開発過程で、同地区と関わる企業やNPO法人等のステークホルダーを増やしてきました。昨年度末には、その試作品を幅広い連携候補先(神戸市にあるレストランやホテル)へ紹介する試食会を開催しました。今後、市内のレストランで提供してもらうことも模索したいと考えています。

ステーキハーブパウダー「神大ふるふる」には、8種類のハーブ(ニンニク/ショウガ/桑葉/ハイビスカス/ユズ/ローズマリー/黒コショウ/レモンマートル)がブレンドされています。このうちの桑葉は、山之内地区で栽培されています。桑葉には、一般的に血糖値上昇を抑制する効果が知られていません。

ステーキハーブパウダー「神大ふるふる」は、ビーフステーキに合う調味料として開発しましたが、チーズ、サラダ、カルパッチョ、バターライス、てんぷら、もつ鍋など、様々な料理に合います。今年度の学園祭(深江祭と六甲祭)では、「神大ふるふる」味のフライドポテトを販売し、好評でした。

なお、本プロジェクトは、平成29年度・平成30年度兵庫県「食と農と健康の郷づくり事業」並びに令和元年度神戸大学「学生地域アクションプラン」の支援を受けて実施しました。

神戸大学大学院工学研究科道場「未来社会創造研究会」（通称・未来道場）について

未来道場は、複雑な社会問題の解決するために、専門分野に関係なく多様な人たちが集まる場所として平成 28 年 4 月に設立されました。文系・理系学生を混在させたグループワーク形式の講義や、企業の新規事業を考えるワークショップを開催するなどの活動をしています。

ホームページ：<http://www.lab.kobe-u.ac.jp/eng-miraidoujo/>

ステークホルダー開発プロジェクトについて

平成 29 年 11 月に本学の学部の異なる学生 7 名が集まり、始動しました。集まったのは、女子学生ばかり。定期的にミーティングを行って、商品開発を進めました。

YouTube：

https://www.youtube.com/watch?v=4e6hHKt1G9U&list=PLk-yX_aG7vJ_ud_cqsNZ_XOClu9sQUKUD

以上

本件に関するお問い合わせ
神戸大学大学院工学研究科道場「未来社会創造研究会」
特命助教 祇 園 景 子
E-mail: mirai@people.kobe-u.ac.jp

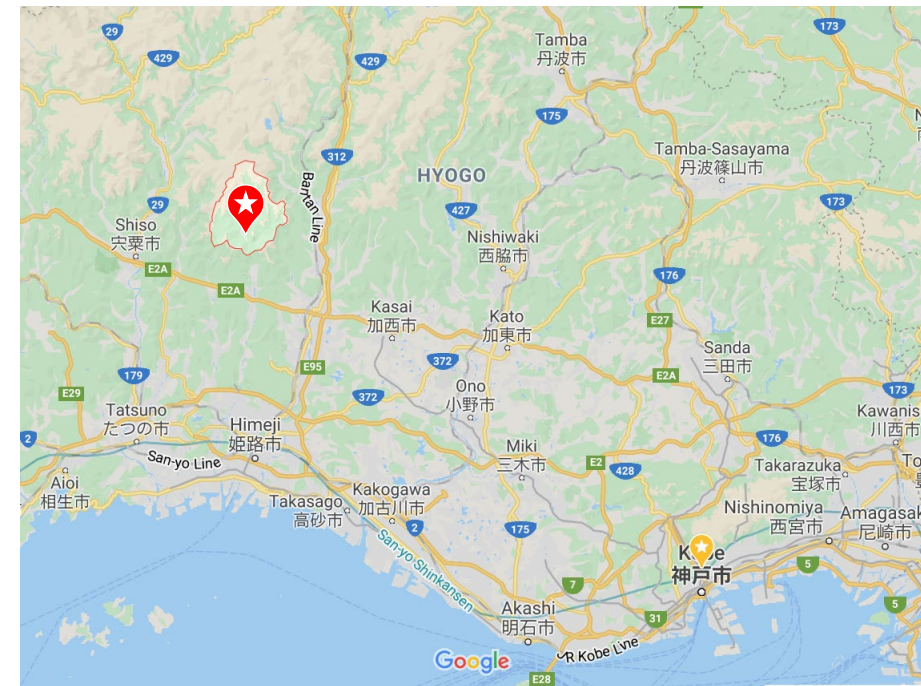
姫路市夢前町山之内×神戸大学 ステーキハーブパウダープロジェクト

神戸大学 道場「未来社会創造研究会」
三島春香 祇園景子

[はじめに]

ステークホルダーを増やしていくことで、
山之内地区を活性化したい！

姫路市夢前町山之内地区は、豊かな農産物を姫路藩へ提供することで、姫路城家の繁栄を支えてきました。その多様な農産物には、ハーブ（薬草）も含まれています。しかしながら、農業を取り巻く環境の変化や歴史資源を保全してきた地域住民の高齢化や人口減少等により、それらの維持や継承が困難となってきました。



そこで、山之内地区で栽培されるハーブを使ってステーキハーブパウダーを地域住民や企業と共同開発し、その過程で企業やNPO法人などのステークホルダーを増やしていくことにより、同地区の経済活動を活性化したいと考えました。



[今年度の活動①]

もっともっとおいしいハーブパウダーになりました。

複数回の試食会を実施して様々な方から意見を聴取し、改良点を整理しました。また、ハーブパウダーの味と原材料費とのバランスを考慮しながら、株式会社香寺ハーブ・ガーデンの協力のもと改良版試作品を作成しました。最も大きな改良点は、ハーブパウダーの粒子の大きさをできるだけ揃えたことです。これにより、味のばらつきを抑えることができました。



[今年度の活動②]

様々な人へ山之内地区とハーブパウダーを紹介しました。

口コミによって学生への認知向上を図るため、神戸大学深江祭と六甲祭にて出店しました。ハーブパウダーをふりかけたフライドポテトを販売し、本学の学生だけでなく、保護者、卒業生、本学への入学を志望する高校生らに山之内地区について説明しました。

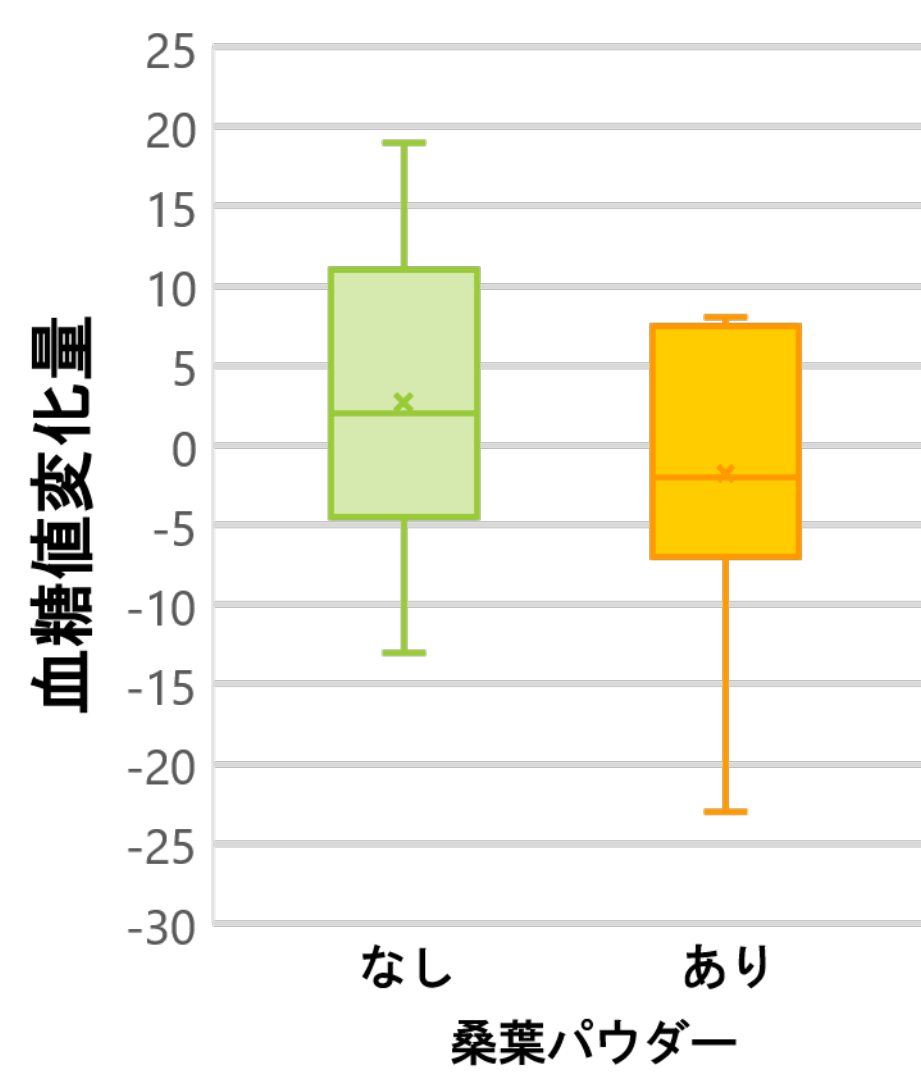


また、8月8日に東京で開催された「神戸のつどい」の神戸大学ブースでも私たちの活動を紹介しました。

[昨年度までの活動]

ハーブパウダーの試作品を作りました。

本活動は、平成29年11月に本学の学部異なる学生7名が集まり、始動しました。姫路市夢前町山之内地区でのフィールドワークやボランティアを通じて、山之内地区のことを色々と知ることができました。そして、本学経営学部や工学部の教員の協力を仰ぎ、株式会社香寺ハーブ・ガーデンの助言を得ながら、ハーブパウダーの試作品を作りました。その試作品を幅広い連携候補先（神戸市にあるレストランやホテル）へ紹介する試食会を開催したところ、様々な意見をもらうことができました。



ハーブパウダーには、山之内地区で栽培されている桑葉をパウダー状にしたものをブレンドしています。桑葉は、血糖値の上昇を抑制する効果が知られています。ビーフステーキを桑葉パウダーと共に食べたときの血糖値の変化を簡易的に測定したところ、血糖値の上昇を抑制する傾向が認められました。



[今年度の活動③]

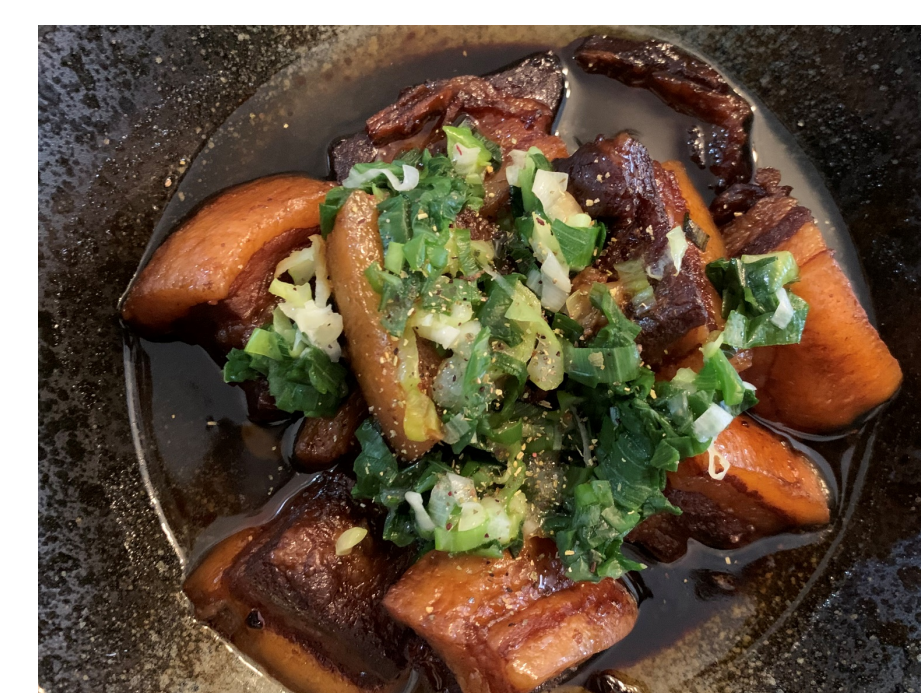
山之内地区とハーブパウダーのことを知ってもらうための冊子を制作しました。

商品を手に取ったときに速やかに商品情報にアクセスさせることで購買意欲を向上させるために、ハーブパウダーに関する情報を掲載した冊子を作成し、それを商品のそばに置くことにしました。冊子には、①プロジェクトに関する説明、②山之内地区に関する説明、③商品の情報・写真、④ハーブパウダー活用料理のレシピ・写真を掲載しています。

[今後について]

いよいよ販売開始へ！

株式会社香寺ハーブ・ガーデン及び神戸大学生協同組合の協力を得て、両店舗にて販売を開始する予定です。商品名は「神大ふるふる」。将来的には、収益の一部を本学の研究活動へ寄付することを目指して、販売経路を構築したいと考えています。



[さいごに]

本プロジェクトに関わってくださった全ての方々へ、心より感謝を申し上げます。特に、株式会社香寺ハーブ・ガーデン・福岡譲一さん、同・谷野貴洋さん、同・田邊佳弥さん、神戸大学生協同組合・坂本安弘さん、同・岡川功さん、同・手塚久司さん、同・本田真一さん、同・梶田博之さん、株式会社ティーエスインターナショナル・生嶋孝司さん、同・山下壮平さん、株式会社ラスweet・中川大輔さん、NPO法人Peace & Nature・Bahram Enanlooさん、神戸大学広報課・子安奈都子さんには多大なご協力を賜りました。誠にありがとうございました。

本プロジェクトは、平成29年度・平成30年度兵庫県「食と農と健康の郷づくり事業」並びに令和元年度神戸大学「学生地域アクションプラン」の支援を受けて実施しました。